

健康登山39:自然歩道20 (室生寺前～済浄坊溪谷～曾爾村役場前)

コース	室生寺前 1.2km/18 2.0km/37 済浄坊溪谷分岐 2.7 / 43	龍穴神社 1.6km/32 大藪橋 0.5km/18 横輪 0.5km/7	奥宮(竜穴) 1.8km/29 南松の滝 1.7km/59 曾爾村役場前	宇野川橋 2.3km/31 済
水平距離	14.3km		断面図 縦軸: 高度m 横軸: 距離km	
水平換算距離	13.7km			
累計高低差	登り896m、下り829m			
標準歩行時間	4:34			
実績歩行時間	4:18			



山行報告

山行日 2008・08・07(木) 天候 曇り 参加者 4名

室生口大野駅9:50 室生寺前10:12 龍穴神社10:26 龍穴10:50 宇野川橋11:19
 大藪橋11:45~12:15 南松の滝12:30 クマタワ13:24 済浄坊溪谷分岐14:10 溪谷
 入口14:30 横輪15:09 村役場前バス停15:30~16:21 榛原駅17:14(解散)

記録

真夏の東海自然歩道歩きだったが、幸い終日曇天で気持ちよく歩けた。
 室生口大野駅からバスで室生寺前まで行き、ここから歩きはじめた。室生寺の門前町を抜け10分ほど歩くと龍穴神社に着く、参拝後奥宮(龍穴)と天の岩戸にも参拝させてもらったが龍穴までは20分程かかる。この水は『やまとの水』に指定されている。奥宮登り口まで戻り、10分間車道を歩くと宇野川橋に着き、ここからは宇野川沿いの林道に入り大藪橋で昼食をした。大藪橋で林道と別れ左岸の山道に入る、石畳の残る道を登ると間もなく南松の滝の標識がある。少し下って見に行ったが、形のよい三段の滝で一見に値する。
 歩く人は少ないようだが、整備された山道を登り詰めると本日の最高地点標高800mのクマタワに着く。山道はここまでで東側の曾爾村側からは舗装された林道が通じていて休憩所やトイレもつくられている。ここで記念写真を撮った。
 クマタワから南へ延びる稜線をたどれば国見山や住塚山に登れるが、それは別の機会として今回は林道を済浄坊溪谷の分岐点まで下った。
 今回のコース名にもなっている済浄坊溪谷は全長約1kmで中程に済浄坊の滝がかかるきれいな溪谷である。滝は二段になっていて下の滝では10人ほどが遊んでおられた。溪谷の下の入口に駐車し、入口から300mで滝まで行けるので地元の人々の納涼の場となっているようである。夕立対策としてクマタワで着けた雨具のズボンを脱ぎ、車道を下ると突然左手に鎧岳の大きな岩峰が見え感動した。奥香落山荘から自然歩道は太郎路へ向かうのだが、名張への道が通行止めで三重交通バスが運行していないため、横輪バス停で右折して曾爾村役場へ向かった。
 鎧岳・兜岳、古光山、俱留尊山などこれから登る山がよく見えてよかった。バス待ちの間に村役場で地元の情報を教えてもらった。これから数回は曾爾村が拠点の登山になる。

自然歩道 (室生寺～済浄坊溪谷～曾爾村)



室生寺前を出発
10:16



龍穴神社
10:26



奥宮(龍穴)
10:50



石畳の登り道
12:20



南松の滝
12:30



最高地点
クマタワ
13:37



済浄坊溪谷
14:18



済浄坊の滝
14:22



鎧岳の岩峰
14:50



次に登る
古光山
15:08

名所・旧跡ミニガイド（自然歩道：室生寺～済浄坊溪谷～曾爾村）

参考資料、奈良の伝説／HP、その他より

◎ 室生川爪出が淵：室生寺旧境内の室生川に「爪出ガ淵」と呼ぶ淵がある。

昔、慶円上人がここを通りかかると、淵にすむ善女竜王が美人となって現れ、名を明かして即身成仏の印明を授けられたいと願った。

上人はその願いをかなえてやり、改めて竜王の本身を現して見せよと求めた。竜王は全身を示しては人を驚かすから片端だけ見せようと、たちまち黒雲をおこし、その雲間から右手だけを現した。その爪の長さは三メートルにもおよび、五色に輝いていた。そこからここを「爪出ガ淵」と呼ぶことになった。

【慶円】鎌倉時代初期、神仏両部思想を確立した僧侶

◎ 室生龍穴神社：式内社。現在の祭神：高靈神〔善如(善女)龍王〕

応和元年(961)8月正四位下の神格を授かっている。

室生寺よりも古く、室生寺は龍穴神社の神宮寺ともいわれ、室生寺は龍王寺と呼ばれていた時期もあった。

龍穴神社の東北にある奥の院に、「奥宮竜穴＝吉祥竜穴」と滝があり、更に奥に「天の岩戸」があります。

室生竜穴は「貴船竜穴」「備前の竜穴」とともに**日本三大龍穴**の一つです。

竜穴と呼ばれる洞窟には、昔、善達竜王がすんでいた。この竜王は、はじめ奈良の猿沢の池にいたが、采女の入水自殺で、春日の香山(春日山)に移り、そこも死人の捨て場だったので、更に室生に移ってきた。

室生の高僧、賢俊僧都が竜王の生身を拝みたいと竜穴に入ると、ずっと奥に宮殿があって、一人の男が現れ、「ここでは対面がならぬから、三丁ほど先で会おう」と言った。僧都が穴から出ると、竜王が荘厳な衣冠姿で腰から上を水面に現した。

僧都がふして拝むと、間もなく竜王は姿を消した。そこで僧都は、竜王の像を刻んで祀った。それが龍穴神社で、以来ここで雨乞いをすれば、たちまち竜穴の上に黒雲たなびき大雨が降ったという。

◎ 室生九穴八海：室生は山あいの室生川に清流が岩走り「九穴八海」といわれる9箇所の洞穴や岩屋、八つの深い淵や池が形成されている。

「吉祥竜穴」はその一つです。

古くから竜神のすむ神聖な所とされ、平安時代の817～1170に39回も室生龍穴神社で雨乞い祈願が行われている。

- ◎ 南松の滝：宇野川にある落差10mの斜瀑。2段滝で下段の方の名称。
上段は熊が滝(別名蜘蛛滝)
他に南松谷に布引滝がある。落差20m+5m
- ◎ クマタワ：標高800mの峠
タワ【撓】とは山の尾根の窪んで低くなった所(鞍部、撓り)
クマ【隅】とは曲がって入り込んだ所。奥まった所。
クマタワとは奥まった所にある鞍部を意味するらしい。
(熊が撓にいたのではありません)
この地方では「タワ」の呼び名の地形(鞍部)が他にも有ります。
フカタワ(古光山)。ゼニヤタワ(国見山、住塚山)。
- ◎ 済浄坊溪谷：名張川支流の横輪川にある約1kmの溪谷に「済浄坊の滝」「長走り滝」
など幾つかの滝や淵が連続して有り、大小の岩が溪谷美をかたちつくっている。「やまとの水百選」に選定されている。
- ◎ 長走り滝：伝説では、天文年間(1532~55)に「椿井谷」に大蛇が棲んでいて、大いに人畜を害したので、「長野村」の井上喜曾なるものが笛を吹いて、大蛇をおびき出して射殺した。
その笛を吹いた所が笛塚(フヤ塚)で兜岳上り口の目無地蔵のすぐ北にある。
またそのとき、さすがの喜曾も大蛇に気をのまれて一時山の口のほうに逃げた。
その長く走ったところが「ナガ走り」で、もうよかろうと一息ついて物陰から覗き見した所が「ノゾキ岩」だという。
- 【椿井谷】赤目四十八滝の滝川上流、落合道出合から南の谷を「椿井谷」と呼ばれています。
- *長走り滝は横輪川の済浄坊溪谷にあります。兜岳登山口の「目無橋」から今井林道を約2km北上すると椿井峠で、「椿井谷」に沿って落合道出合に、そこから赤目四十八滝を経て赤目口まで5時間30分のハイキングコースがあります。

◎ 曾爾近辺の山：室生赤目火山群（^^マーク＝急坂アップダウンが有ります）

△住塚山 1009m、国見山 1016m：

天然記念物の屏風岩を見て大展望の2山が縦走周回できる。展望良し。
曾爾横輪または長野起点。歩程約4時間30分。標高差730m^^
近鉄名張～三重交通バス。

【屏風岩】標高918m直下の高さ200m長さ1500mに及ぶ柱状節理は**天然記念物**。

△兜岳 920m、鎧岳 894m：

室生火山群のひとつ特徴ある山容の奇峰鎧岳を縦走できる。
曾爾横輪～新宅本店前。歩程約3時間50分。標高差530m^^
近鉄名張～三重交通バス。

△古光山 953m、後古光山 892m：

別名ヌルベ山ともよばれ、天狗伝説の岩峰の山、アルペン気分で縦走周回できる。
曾爾村役場～太良路、又は葛。歩程約4時間。標高差543m+200m^^^
近鉄名張～三重交通バス。

△俱留尊山 1038m、亀山 849m：

高原の曾爾の盟主。**東海自然歩道奈良県内最後の山**。ススキの大海原。
太良路～中太郎生。歩程約4時間10分。標高差660m^^
近鉄名張～三重交通バス。

△大洞山 1013m、尼ヶ岳 958m：

東海自然歩道サブコース上にある。中太郎生～高尾。歩程4時間20分。（標高差約550m）近鉄名張～三重交通バス。